



Time:13:30時点

※前回報：10月4日報 Vol.:24

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

サウジアラビアと米国はOPECプラスの11月日量200万バレル減産計画を巡って衝突

■ [10月CP] プロパン：\$590 (前月比▲\$60)、ブタン：\$560 (前月比▲\$70) ■ [9月MB平均]：\$518 (前月比▲\$54)

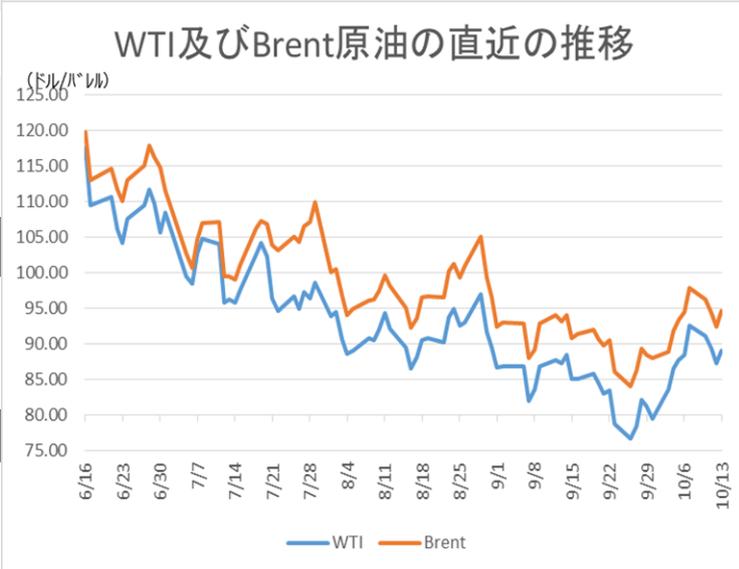
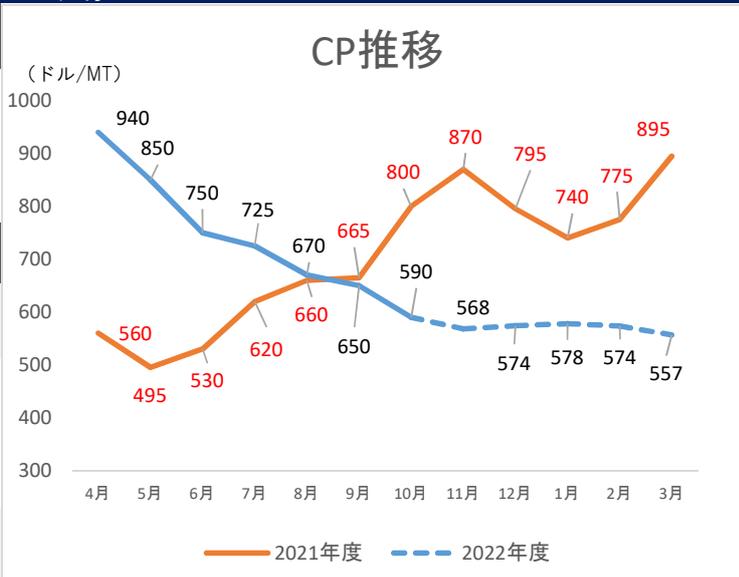
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI (11月)	89.11	79.49	+9.62
北海Brent (12月)	94.57		

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 11月	568	▲12	70%	▲5%
MB 10月	459	▲21		

プロパン	12月	1月	2月	3月	4月
CP先物	574	578	574	557	535
プロパン	11月	12月	1月	2月	3月
MB見通し	457	459	462	462	453

外航フレート (USD/MT)	10/14時点	※前回	前回比		
中東-日本	84.0	81.5	+2.5		
米国-日本 (パナマ運河経由)	134.5	133.5	+1.0		
為替/TTS	10月予測	9月	8月	7月	
USD/円	20日↗	146.58	141.57	135.83	137.42
	末日↗	147.51	144.09	136.24	137.79



LPG元売り11月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ：▲3,200~▲3,800	▲2,500~▲3,100
ENEOSグローブ	改定レンジ：▲2,800~▲3,400	▲1,700~▲2,300
アストモスエネルギー	改定レンジ：▲3,700~▲4,300	▲2,900~▲3,500
ジクシス	改定レンジ：▲3,600~▲4,200	▲2,800~▲3,400

マーケット概況			今回	※前回	前回比	今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	29,634.83	28,725.51	+909.32	TOPIX (円)	1,898.19	1,839.47	+58.72	
S&P500 (US\$)	3,583.07	3,585.62	▲2.55	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,650.20	1,672.40	▲22.2	
米国債券10年利回り (%)	4.023	3.788	+0.235	VIX恐怖指数 (%)	32.02	31.62	+0.4	
日経平均 (円)	27,090.76	26,111.48	+979.28					

今週のTOPIC

★サウジアラビアと米国はOPECプラスの11月日量200万バレル減産計画を巡って衝突

原油概況

★OPECプラスが減産発表し急上昇するも景気後退懸念からWTI \$80台に落ち着く

影響度

強気・
上昇要因



- ① OPECプラスは11月に日量200万バレル（世界需要2%相当）減産を合意
- ② IEAは9月のロシア石油輸出を日量23万バレル減（▲4%）と発表（IEA＝国際エネルギー機関）
- ③ 2023年の原油世界供給過剰量はOPECプラス減産により半減する可能性

弱気・
下降要因



- ① OPECは2022年世界石油需要増加幅予測を日量46万バレル引き下げ
- ② EIAは2023年にかけて米国石油需要と生産伸びが鈍化と予測（EIA＝米国エネルギー情報局）
- ③ IMFは2023年世界経済成長率予測を2.9%から2.7%に下方修正（IMF＝国際通貨基金）

LPガス概況

★OPECプラスの原油減産影響は中東LPG高在庫を背景に軽微、CPは\$500台の予測

（強気）

- ① インドの9月LPG消費量は245万tと前年同月比3.6%増加
- ② インドネシアの2022年累計LPG輸入量は456万tと前年同期比8.4%増加

（弱気）

米国プロパン在庫は需要減少により741万tと前年同期比19.2%増加

「サウジアラビアと米国の関係性」

- ・ サウジアラビアは中東で初めて米国と同盟を結んだ国であり、安全保障面で米国の傘下に入っています。
- ・ 米国はサウジアラビアの石油資源を必要とし、サウジアラビアもまた米国の採掘技術と軍事面の協力を必要としており、両者には相互依存関係がありました。
- ・ シェール革命により米国が世界一の産油国となって以降、両者の関係性に微妙な変化が現れており、サウジアラビアの米国への協力姿勢も以前に比べ少し変化が見られます。